



12/3

三豊市勤労者協議会の皆さんが例年取り組んでいる、カーブミラーの清掃を行いました。当日は寒風の吹く厳しい気候の中での作業でしたが、総勢31人の参加者の皆さんは、寒さや棒ずりから滴り落ちる水にもまげず奮闘し、豊中、高瀬、三野の3地区、約700本のミラーを清掃しました。

東京都で第33回交通安全母親全国大会が開催され、豊中町の大西元子さんが「全国交通安全母の会連合会会長表彰」を受賞されました。大西さんは、交通安全母の会の指導者として、シートベルト着用調査や交通キャンペーン等に取り組み、交通事故防止に尽力されています。

12/7



山本町の辻地区老人クラブ「若松会」の役員の皆さんが、67番札所大興寺にある樹齢1200年余りの立派なカヤの木（弘法大師のお手植えと伝えられている）に、毎年しめ縄を取りつけています。この日も、慣れた手つきでしめ縄を作り、慎重に取りつけて無事奉納しました。

高瀬町のたかせ人権福祉センターと前田児童館で文化祭が行なわれました。子どもたちの作品や地域の皆さんの力作の展示、温かくておいしい焼き鳥やあげたこのバザー、また子どもたちの踊りの披露などもあり、両会場とも大勢の来場者で1日中にぎわいました。

12/9



高松市で行われた「2006子どもファーム活動交流会&コンクール」で比地大小(豊中町)5年生が最優秀賞を、下高瀬小(三野町)5年生が優秀賞をそれぞれ受賞し、教育長に報告しました。比地大小は米作りを通して生き物や農薬など環境について学習し、下高瀬小は、あいがも農法で米を育て、特産の発芽玄米に加工・販売しました。両校とも1月27日に東京で行われる全国交流会に参加します。

12/2



みとよHOT ほっとNEWS

12/16



12/17

詫間町のボランティア団体「じゃがいもの会」が結成20周年を迎え、記念の催しが行われました。地域の子どもたちが紙芝居を披露したり、参加者全員で歌を歌ったりと会員同士の親睦を深めながら、今後のボランティア活動への思いを新たにしていました。



12/20

笠田高校家政科の1年生28人が、特別養護老人ホームとよなか荘を訪問し、干支の猪やコマなどを描いた正月らしい「絵手紙の年賀状」を一人ひとりに手渡しました。一足早く年賀状を受け取った入所者の皆さんは、うれしそうに何度も何度も読み返していました。また、女子高校生と一緒に歌を歌ったりして温かいふれあいのひとときを過ごしました。



12/19

仁尾支所の駐車場で「リレーキャンペーン仁尾町“曾保みかん、食べてなく曾保(そう)事件・事故”」が行われました。仁尾小学校の児童や、地域安全推進委員の皆さんらが、曾保みかんとチラシを渡し、「交通ルールを守って安全運転してください」とドライバーに呼びかけました。

高瀬町の朝日山森林公園で新年の始まりを告げる、「朝日山森林公園新春祭」が開催されました。1日に子ども太鼓初打ち、お神酒や初がゆなどの接待が行われたほかにも、琴の演奏、焼き芋・青果物の販売など各種イベントがあり、多くの初もうで客でにぎわいました。



1/1~3

高瀬町の緑ヶ丘サッカー場で、スポーツ用品メーカー主催のサッカークリニックが開かれました。県内の小学生サッカーチーム14組が参加し、ゲストのセレッソ大阪・森島寛晃選手とミニゲームで対戦。子どもたちは寒さも忘れ、元日本代表で2度のワールドカップでも活躍した現役Jリーガーに果敢な攻撃をしかけていました。



1/7

瀬戸内短期大学の女子学生が、比地小学校の校区内をパトロールする、「子ども見守り隊」を発足させました。高瀬警察署の呼び掛けに、大学のボランティアサークルのメンバーや、とかみ寮の寮生約30人が、「地域に役立てることを」と行動を起こしました。そろいの腕章とたすきを身に着け、下校前の児童と顔合わせを行った後、早速校門前で立哨を行いました。

1/10



1/6

山本町の山本ふれあい公園で、新春恒例の「新春たこあげ大会」が開かれました。晴天にも恵まれ、思い思いのたこを手集まった参加者は、広いグラウンド内を駆け回り、昔ながらの正月行事を楽しみました。

